

事業名 : たじま児童劇団新規公演

団体名 : 一般社団法人江原河畔劇場

1 事業内容

日時 2023年10月1日～2024年1月31日 「たじま児童劇団」(中高生の部) 新規公演

場所 江原河畔劇場 (定員 公演出演者22名)

内容 平田オリザ作・演出の書き下ろし作品をプロの俳優やスタッフの指導の元、本格的な演劇創作を行い上演する。

【事業経過】

月 日	実施内容	場所	参加人数
10月1日	チラシ情報確定会議	江原河畔劇場	5人
12月11日	チラシ郵送、配布	江原河畔劇場	5人
12月23日	たじま児童劇団(中高生の部) 1回目 集中稽古	江原河畔劇場スタジオ/劇場	24人
12月24日	たじま児童劇団(中高生の部) 2回目 集中稽古	江原河畔劇場スタジオ/劇場	24人
12月25日	たじま児童劇団(中高生の部) 3回目 集中稽古	江原河畔劇場スタジオ/劇場	24人
12月26日	たじま児童劇団(中高生の部) 4回目 集中稽古	江原河畔劇場スタジオ/劇場	24人
12月27日	たじま児童劇団(中高生の部) 5回目 集中稽古	江原河畔劇場スタジオ/劇場	24人
12月28日	たじま児童劇団(中高生の部) 6回目 集中稽古	江原河畔劇場スタジオ/劇場	24人
12月29日	たじま児童劇団(中高生の部) 7回目 集中稽古	江原河畔劇場スタジオ/劇場	24人
12月30日	たじま児童劇団(中高生の部) 8回目 集中稽古	江原河畔劇場スタジオ/劇場	24人
1月4日	たじま児童劇団(中高生の部) 9回目 集中稽古	江原河畔劇場スタジオ/劇場	24人
1月5日	たじま児童劇団(中高生の部) 10回目 集中稽古	江原河畔劇場スタジオ/劇場	24人
1月6日	たじま児童劇団(中高生の部) 11回目 公演1日目	江原河畔劇場スタジオ/劇場	24人
1月7日	たじま児童劇団(中高生の部) 12回目 公演2日目	江原河畔劇場スタジオ/劇場	24人
1月8日	たじま児童劇団(中高生の部) 13回目 公演3日目	江原河畔劇場スタジオ/劇場	24人
1月21日	たじま児童劇団(中高生の部) 14回目 振り返り会	江原河畔劇場スタジオ/劇場	24人
1月31日	反省会	江原河畔劇場	9人

2 事業の効果

(1) 団体(組織)内の効果

児童劇団参加者のアンケートで「活動内容に満足している」という回答が100%、保護者アンケートで「子どもを参加させてよかった」という回答が100%という、非常に満足度が高い結果となった。事業内容はもちろん、日ごろから指導するスタッフのスキル向上に取り組んだ結果が確認された。また、公演の来場者アンケートでは、「この公演をきっかけに初めて江原河畔劇場に来場した」という方も多く、本事業を実施することで劇場への来場者を増やすことにつながった。

(2) 地域への波及

観客総数 552 名を動員した。来場者アンケートでは、但馬地域以外の兵庫県内、京都府、大阪府、奈良県、福岡県、神奈川県、東京都など、但馬圏外から来場したという回答が約 50 件あった。一方、豊岡市からの来場者が全体の半数を占め、地元で楽しめる演劇公演として定着してきていることもわかった。「中学生になったら自分も参加したい」「来年はやってみたい」という感想もあり、地域の子どもの文化活動の一端を担う場所として認知されてきている。

3 協働の相手方

但馬県内の教育委員会：学校でのチラシやポスター配布で協働

芸術文化観光専門職大学：実習生の受け入れ（アシスタント業務）、分析等で協働

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

参加者は毎年増加しているものの、非営利活動のため、補助や助成の獲得が必須である。活動の意義、重要性をアピールできる公演を引き続き実施する。

参加者は但馬地域の中高生を主な対象と考えているが、広域のため、送迎が負担という声があり、通いやすい時間設定やプログラムを検証する。

保護者からのサポートの申し出もあり、地域ボランティアの受け入れを積極的に検討する。

引き続き芸術文化観光専門職大学の実習生を受け入れ、人材育成に努める。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

部活動の地域移行の一助になりたいと考えている。参加者アンケートで、たじま児童劇団への参加理由に「学校に演劇部がないから」という回答もあり、すでにその受け皿になっているが、さらに参加希望者が増えた場合は、活動時期などに工夫の必要がある。参加者はお互いの学年や学校を意識せず、対等な関係性で演劇を作るため、サードプレイスの交流の場としても有効に機能しており、その良さを持って活動を継続拡大したい。

来場者による地域活性化につなげるため、公演に付随して商店街で関連イベントや、出店を打診したい。今回の公演では、焼き芋移動販売に出店してもらった。

豊岡演劇祭と連携し、対外的なアピールを実施したい。



6年1月5日 たじま児童劇団中高生の部公演『転校生』ゲネ